

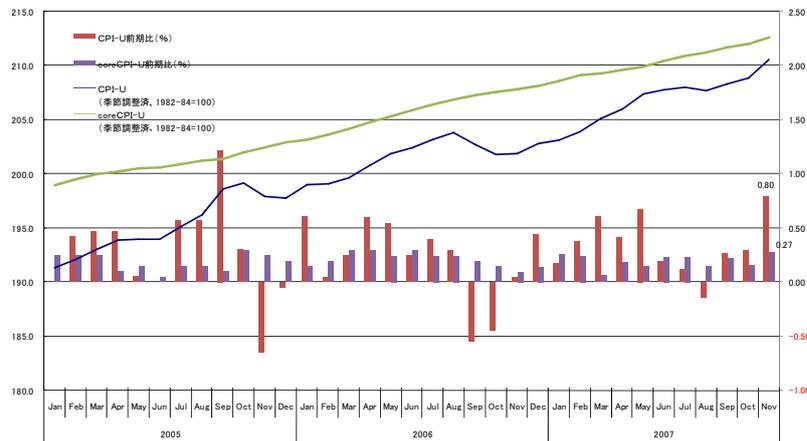
米国経済点描 (2007. 12. 29)

～物価指数～

米国労働省労働統計局（BLS）が12月14日に公表した2007年11月の消費者物価指数によると、11月の全都市消費者の消費者物価（季節調整済）は、10月から0.8%も高騰した。前年同月比では4.3%の上昇率となった。また、食料及びエネルギーを除くコアインフレ率は0.3%上昇した。これは年率に直すと3.8%の上昇に相当し、FRBが許容の上限とする2%を超えている。物価上昇が目立つのは、原油高騰の影響を受けたエネルギー関連で、4.7%上昇（前月は1.4%上昇）している。

さらに、卸売物価指数では、最終財及び中間財ともに、前月から3%以上も高騰し、景気減速下のインフレ進行という展開になりつつある。

消費者物価指数(都市部消費者)



出所: 労働統計局資料をもとにアクシスリサーチ研究所作成

卸売物価指数

